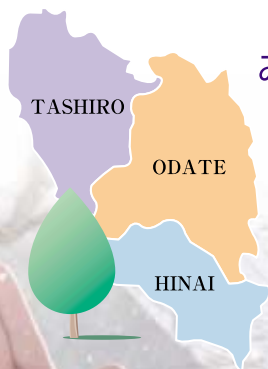


第11号

2005
3.1

大館市・比内町・田代町合併協議会だより

おおだて・ひない・たしろ



みんなで考えよう私たちの未来



新市発足に向け、事務事業の調整が進んでいます

現在、大館市・比内町・田代町には約2000に及ぶ事務事業があり、各市町で内容が異なるため、合併に向けて協議・調整が続けられています。この事務事業は重要度に応じてA項目（合併協議会で決定するもの）、B項目（幹事会で決定するもの）、C項目（各部署で決定するもの）に区分されており、A項目の52項目は、合併協定項目として、合併協議会で既に協議・確認されました。

B項目は約200項目ありますが、幹事会を1月に集中的に開催し、調整が終了しました。C項目は、各部署・分科会で現在も、協議・調整が行われています。

なお、6月20日の新市発足時に、円滑に住民サービスを提供できるように、60項目近くにわたる職員研修を開催するなどして、一生懸命準備を進めています。



スポーツ課職員研修



公民館職員研修

今後の予定

3月上旬

秋田県議会で大館市・比内町・田代町の合併議決
秋田県知事が合併を決定し、総務大臣へ届出

4月上旬

総務大臣が合併の告示をし、合併の効力が発生

6月20日

新「大館市」誕生

各方面で合併が進められています

大館市・比内町・田代町は、6月20日に合併し、新市が発足することになっていますが、社会福祉協議会、商工会、森林組合、シルバー人材センターなどでも、合併や統合を目指して協議が進められています。大館市社会福祉協議会、比内町社会福祉協議会、田代町社会福祉協議会は、3社会福祉協議会の合併期日を6月20日とし、本所を現在の大館市社会福祉協議会とすることなどを決定し、2月22日に合併協定調印式を行いました。

比内町商工会、田代町商工会、花矢商工会は、3商工会の合併に向けて協議をした結果、合併の期日を4月1日、名称を大館北秋商工会とし、本所を比内支所を田代と花矢にすることで、各商工会が承認し、1月28日に合併契約書調印式を行いました。

大館比内、北秋田、阿仁森吉、田代の4森林組合は、昨年12月16日に開催された各森林組合の臨時総会で、森林組合の合併について承認を受け、大館北秋田森林組合の誕生を正式に決定しました。合併の期日を4月1日とし、新組合の本所を鷹巣町に、事業所を大館市、鷹巣町、阿仁町、田代町に、支所を合川町と上小阿仁村に置くことになりました。

大館・比内・田代1市2町のシルバー人材センターは2月10日、統合協定調印式を開催し、7月1日から大館市シルバー人材センターとして発足することになりました。



社会福祉協議会とは？

皆さんの心のふれあいと助け合いで、誰もが安心して生活できるまちづくりのための民間の中核的団体であり、行政の協力などを基に、地域福祉の推進を図ることを目的としています。社会福祉法に基づき設置された社会福祉法人です。

商工会とは？

地域の商工業の振興と住みよいまちづくりのため商工業者によって組織された総合的経済団体です。商工会法に基づいて主に町村部に設立された特別認可法人です。

森林組合とは？

山に木を植え、下刈りや間伐などの手入れを行い、森林が本来持っている公益機能や良質の木材が生産される森林に育てるために、森林組合法に基づいて設立された森林所有者の協同組織です。

シルバー人材センターとは？

健康で働く意欲のある高齢者が、共に働き、共に助け合いながら社会に参加する充実感や生きがいづくりを自ら進めるという理念の下、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づいて運営されている社団法人です。



当地域の沿革 明治の大合併以降

明治政府は、明治22年に近代的な地方自治制度である市制・町村制を施行し、全国一律に町村合併を行いました。この結果、明治21年末に71,314あった町村が、明治22年末には39市、15,820町村となり、約5分の1に減少しました。この大合併では、江戸時代から引き継がれてきた自然集落規模の町村が、当時の行政事務に合った規模（300～500戸を標準）に改変されました。これを明治の大合併といいます。

この大合併で、現大館市・比内町・田代町の区域においては、町村数は16になりました。

明治の大合併以後、明治29年に扇田村が、昭和7年に花岡村が、昭和22年に早口村が町制を施行して町となり、昭和26年には大館町と釈迦内村が合併して大館市となりました。

第二次世界大戦後は、地方自治の確立が大きな課題となり、多くの事務を市町村で処理されることとされたため、行政事務の能率的处理のために、市町村規模の合理化が必要とされました。

昭和28年に「町村合併促進法」が、昭和31年には「新市町村建設促進法」が施行され、新制中学1校を設置管理するために必要とされた8,000人の人口を目安に、

全国で市町村合併が促進されました。この結果、昭和28年に9,868あった市町村が、昭和36年には3,472に減少しました。これを昭和の大合併といいます。

当地域では昭和30年に、大館市と長木村、上川沿村、下川沿村、真中村、二井田村、十二所町が合併して大館市となり、花岡町と矢立村が合併して花矢町となり、扇田町、東館村、西館村、大葛村が合併して比内町となりました。その後、昭和31年に、早口町と山瀬村が合併して田代町となり、昭和42年に大館市と花矢町が合併して、今日に至っています。

当地域の人口

当地域の人口は、明治の大合併のころから、昭和の大合併のころにかけて、2.4倍に増加していますが、鉱山業の盛衰を中心とした産業構造の変化などを受け、人口分布に急激な変化が見受けられます。明治の大合併のころから昭和の大合併のころにかけては、旧花岡村の区域では実に7.2倍に増加しました。

昭和の大合併のころから平成の大合併のころにかけては、旧大館町とその隣接区域で増加しているものの、その他の地区では、2割～7割減少しています。

今後、2030年までの30年間に当地域の人口は約2割減少するものと推計されています。

人口の推移

単位：人

旧町村名 (明治22年現在)	明治の大合併のころ	昭和の大合併のころ	平成の大合併のころ(現在)	30年後	明治の大合併のころから昭和の大合併のころにかけての増減率	昭和の大合併のころから現在にかけての増減率	現在から将来にかけての増減率
	明治21年 1888年	昭和30年 1955年	平成12年 2000年	平成42年 2030年	(1888年 1955年)	(1955年 2000年)	(2000年 2030年)
	国勢調査	国勢調査	国勢調査	推計値	(b - a) / a	(c - b) / b	(d - c) / c
	a	b	c	d	(b - a) / a	(c - b) / b	(d - c) / c
大館町	7,145	25,905	29,237	—	262.6%	12.9%	—
釈迦内村	3,206	6,899	7,693	—	115.2%	11.5%	—
長木村	2,257	4,315	4,674	—	91.2%	8.3%	—
上川沿村	1,983	2,905	3,637	—	46.5%	25.2%	—
下川沿村	2,046	3,462	6,428	—	69.2%	85.7%	—
真中村	1,891	2,581	1,622	—	36.5%	37.2%	—
二井田村	2,235	3,503	2,562	—	56.7%	26.9%	—
十二所町	3,816	6,220	4,479	—	63.0%	28.0%	—
花岡村	1,579	11,496	3,665	—	628.1%	68.1%	—
矢立村	1,719	3,946	2,296	—	129.6%	41.8%	—
扇田村	2,753	6,477	4,765	—	135.3%	26.4%	—
東館村	2,513	5,026	3,106	—	100.0%	38.2%	—
西館村	2,737	5,087	3,337	—	85.9%	34.4%	—
大葛村	1,587	2,283	887	—	43.9%	61.1%	—
早口村	2,747	6,717	3,950	—	144.5%	41.2%	—
山瀬村	2,750	5,669	3,950	—	106.1%	30.3%	—
現大館市の区域	27,877	71,232	66,293	54,199	155.5%	6.9%	18.2%
現比内町の区域	9,590	18,873	12,095	8,485	96.8%	35.9%	29.8%
現田代町の区域	5,497	12,386	7,900	5,229	125.3%	36.2%	33.8%
現1市2町の全域	42,964	102,491	86,288	67,913	138.6%	15.8%	21.3%

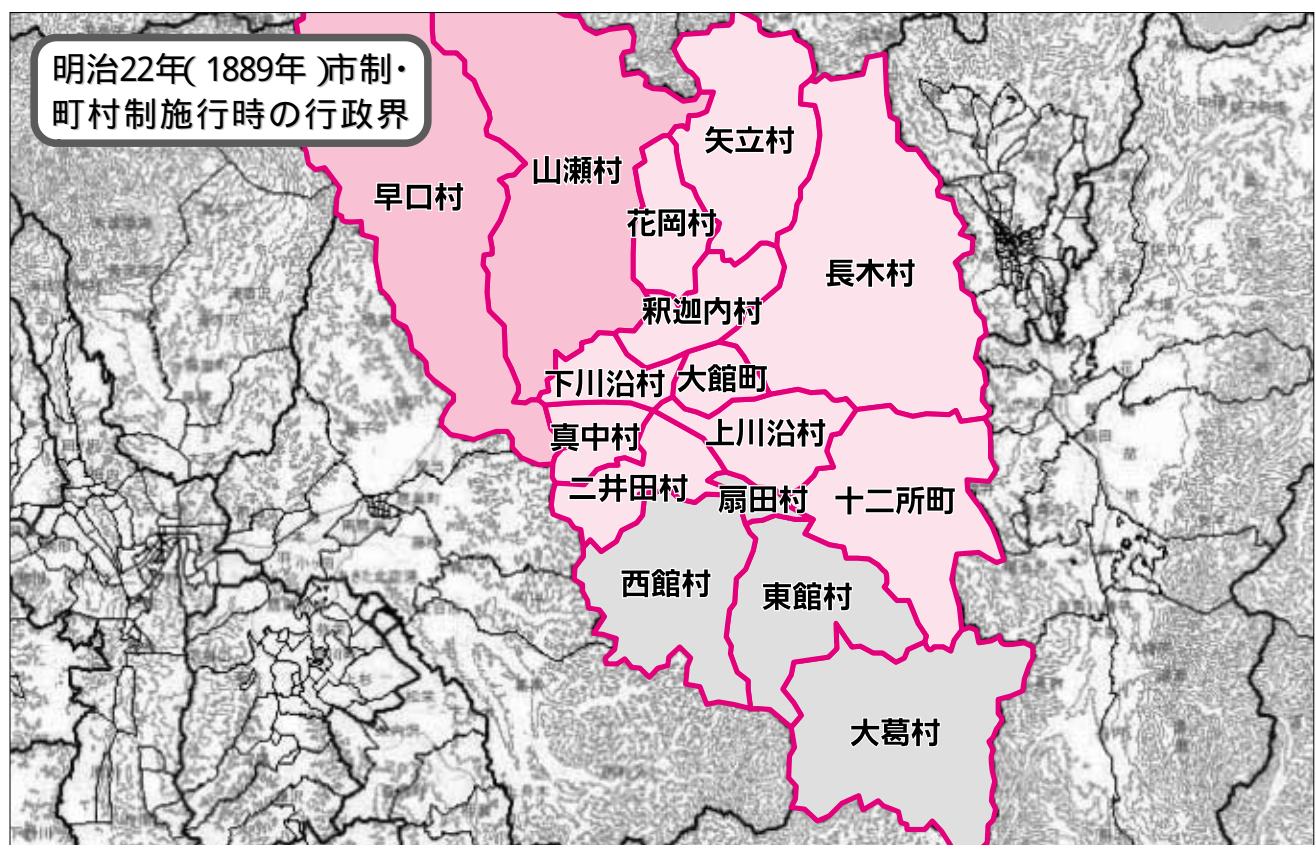
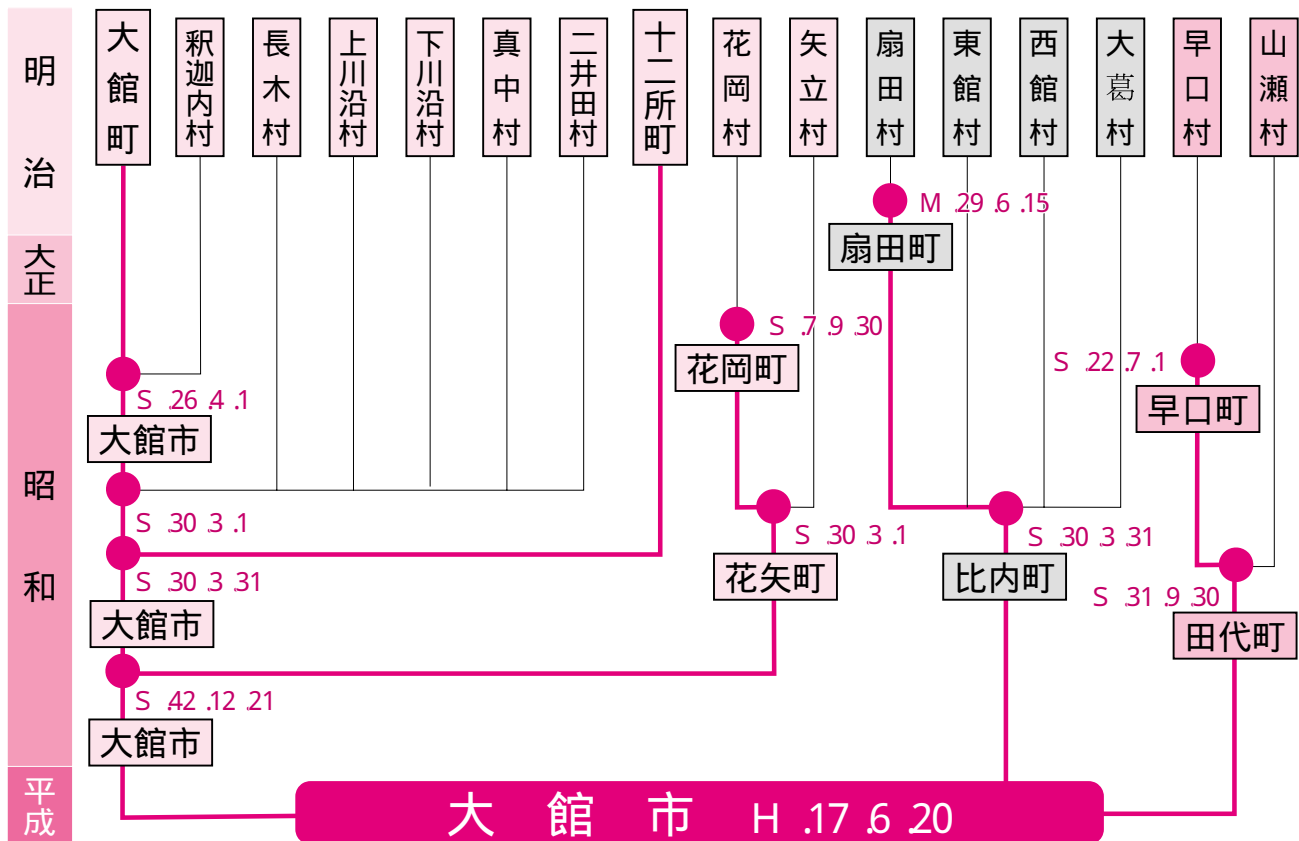
1888年の人口は、「北秋田郡町村会(1967):大館市・北秋田郡自治百年史」による

2030年の人口は、大館市・比内町・田代町合併協議会による推計値

人口の増減率：印は人口が減少したことを意味する。増減率が100%であれば人口が2倍に増加したことになり、50%であれば人口が半減したことになる



明治22年(1889年)市制・町村制施行後の沿革





秋田県 平成17年2月20日現在

(**新市町名**)
合併期日
人口
人口は平成12年の
国勢調査による

新町名未定
H18.3.27
9,698人

新町名未定
H18.3.20
22,112人

大館市
H17.6.20
86,288人

北秋田市
H17.3.22
42,050人

かたがみし
潟上市
H17.3.22
35,711人

男鹿市
H17.3.22
38,130人

秋田市
H17.1.11
336,646人

由利本荘市
H17.3.22
92,843人

だいせんし
大仙市
H17.3.22
98,326人

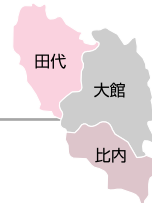
みさとちよう
美郷町
H16.11.1
24,207人

にかほ市
H17.10.1
30,347人

湯沢市
H17.3.22
58,504人

①	②
仙北市 合併期日未定 33,565人 (田沢湖町 角館町 西木村)	新町名未定 合併期日未定 18,889人 (田沢湖町 西木村)

①	②
横手市 H17.10.1 99,905人 (横手市 平鹿町 雄物川町 大森町 十文字町 大雄村 山内村)	新市名未定 合併期日未定 109,004人 (横手市 増田町 平鹿町 雄物川町 大森町 十文字町 大雄村 山内村)



新市が続々と誕生しています

合併特例法の期限が迫る中、全国的に市町村合併が進んでいますが、北東北においても、多くの市町村が合併を検討しています。秋田県内では、平成16年4月に69あった市町村数が、平成18年3月までには、27となる見込みです（ ）。

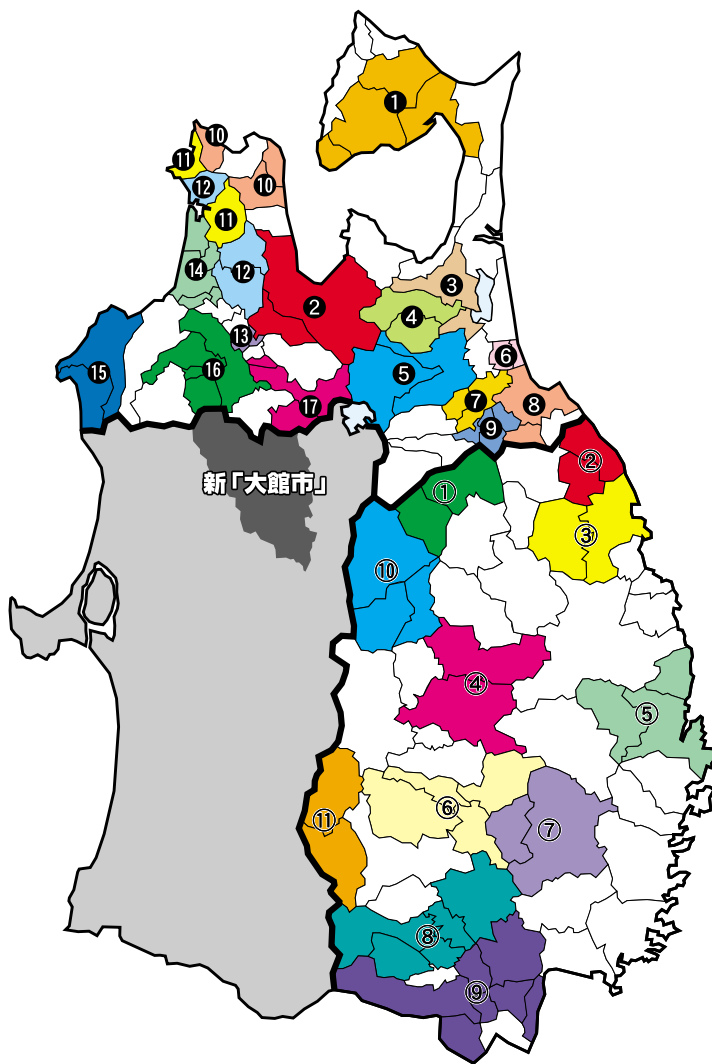
また、新「大館市」の人口は約86,000人となり、人口規模では県内第5番目、北東北第13番目の都市となる見込みです。

2月時点の状況による見込み値。今後、増減することがあります。

北東北 平成17年2月10日現在（人口は平成12年の国勢調査による）

青森県

新市町名	合併期日	人口
(合併する市町村名)		
①むつ市	H17.3.14	67,022人
(むつ市・川内町・大畑町・脇野沢村)		
②青森市	H17.4.1	318,732人
(青森市・浪岡町)		
③東北町	H17.3.31	20,591人
(上北町・東北町)		
④七戸町	H17.3.31	19,357人
(七戸町・天間林村)		
⑤十和田市	H17.1.1	69,630人
(十和田市・十和田湖町)		
⑥新町名未定	H18.3.31	23,220人
(百石町・下田町)		
⑦五戸町	H16.7.1	21,318人
(五戸町・倉石村)		
⑧八戸市	H17.3.31	248,608人
(八戸市・南郷村)		
⑨南部町	H18.1.1	22,596人
(名川町・南部町・福地村)		
⑩外ヶ浜町	H17.3.28	9,170人
(蟹田町・平館村・三厩村)		
⑪中泊町	H17.3.28	15,325人
(中里町・小泊村)		
⑫五所川原市	H17.3.28	63,208人
(五所川原市・金木町・市浦村)		
⑬藤崎町	H17.3.28	16,858人
(藤崎町・常盤村)		



⑭つがる市	H17.2.11	41,320人
(木造町・森田村・柏村・稲垣村・車力村)		
⑮深浦町	H17.3.31	11,799人
(深浦町・岩崎村)		
⑯弘前市	H18.2.27	193,217人
(弘前市・岩木町・相馬村)		
⑰平川市	H18.1.1	36,454人
(尾上町・平賀町・碓ヶ関村)		

岩手県

新市町名	合併期日	人口
(合併する市町村名)		
①二戸市	H18.1.1	33,102人
(二戸市・浄法寺町)		
②洋野町	H18.1.1	20,465人
(種市町・大野村)		
③久慈市	H18.3.6	40,178人
(久慈市・山形村)		
④盛岡市	H18.1.10	302,857人
(盛岡市・玉山村)		
⑤宮古市	H17.6.6	63,223人
(宮古市・田老町・新里村)		
⑥花巻市	H18.1.1	107,175人
(花巻市・大迫町・石鳥谷町・東和町)		
⑦遠野市	H17.10.1	33,108人
(遠野市・宮守村)		
⑧新市名未定	H18.2.20	133,056人
(水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川村)		
⑨一関市	H17.9.20	130,373人
(一関市・花泉町・大東町・千厩町・東山町・室根村・川崎村)		
⑩八幡平市	H17.9.1	32,485人
(西根町・松尾村・安代町)		
⑪西和賀町	H17.11.1	7,983人
(湯田町・沢内村)		



連山一望

大館・比内・田代



「竜ヶ森」(比内町大葛から)

●撮影/泉 實さん(比内町長部)



「春の訪れを告げる福寿草」(比内町森合で)



「大館夕景」(大館市の長根山山頂から)

●撮影/宮腰 照雄さん(大館市御成町二丁目)



「三階滝の冬景色」(田代町岩瀬沢)

●撮影/五十嵐 由美さん(田代町字坂地)

ホームページで公開しています。

これまで開催されてきた任意合併協議会、法定合併協議会の協議資料を全て公開しています。協議案件、協議結果、会議録、これまでの経過などをホームページでご覧になれます。また、ご意見ご提案をお寄せいただくこともできますのでご利用ください。<http://oht-gappei.jp>

お知らせ

第16回 大館市・比内町・田代町合併協議会

と き：平成17年3月29日(火) 午後1時30分

ところ：比内町役場2階 大会議室

合併協議会の会議はどなたでも傍聴できます。会議開始30分前から受け付けしておりますので、直接会場へおいでください。都合により日時、場所等が変更になることもありますので、ホームページで最新の情報をご確認ください。

大館市・比内町・田代町は6月20日に合併して新「大館市」となりますが、合併について分からないこと、不安なことなど、質問がございましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

大館市・比内町・田代町合併協議会事務局

〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地(大館市役所内)
TEL.0186-49-3111(代) FAX.0186-43-9931
info@oht-gappei.jp <http://oht-gappei.jp>